

第5次生馬地区地域福祉活動計画



絵 福井征志郎 題「学窓の丘」



生馬地区社会福祉協議会

第5次生馬地区地域福祉活動計画のスタートに向けて

現在、私たちは未曾有の少子高齢化社会の真っただ中にいます。

近隣を見渡してみても、若い世代や子供たちと共の家庭が少なくなってきました。

ライフスタイルの変化と価値観の多様化、地域社会における人間関係の希薄化、世代間交流の減少等、私たちを取り巻く社会情勢の変化はきわめて深刻なものがあります。

今、こうした様々な変化に対応し、活力ある心豊かな地域社会を作っていくことが求められています。

生馬地区では、『住むなら生馬、安全で安心して暮らせる 魅力あるまちづくり』を福祉目標として地域福祉活動計画を立て、5年毎に見直し策定されてきました。

今年度はその計画を見直し、「第5次生馬地区地域福祉活動計画」（以下、「第5次計画」と略）を再スタートさせる年度となりました。

第5次計画の策定には、「生馬の生活・福祉を語る会」を開催し、各町内会・自治会会長さんをはじめ、民生委員、福祉推進員さんなど福祉関係者と意見交換した中から課題を取り上げ、骨子を立案しました。

内容的には、少子高齢化社会の抱える課題が多く、健康、ふれあい交流、子育て、見守り、支えあい、などに関する活動目標を立てています。

今後5年間の計画は出来ましたが、これを実行、実現できるかは、生馬地区住民の皆様方や協力団体の関心と協力を得なければ、「絵に描いた餅」です。

そうならないためには、年度ごとに進捗状況の確認と点検が必要と思います。

おわりに、第5次計画の策定にあたり、ご協力いただいた市社協の加茂絵菜様、市健康推進課の松本桃奈様をはじめ、各町内会・自治会会長さんをはじめ、民生委員、福祉推進員さんなど福祉関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成31年3月

生馬地区社会福祉協議会

会長 細井利美

目 次

第1章 生馬地区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 生馬地区の現状と今後の課題・・・・・・・・・・ 2

生馬の生活・福祉を語る会から

第3章 第5次生馬地区地域福祉活動実施計画・・・・・・・・ 3

「第5次生馬地区地域福祉活動計画策定委員名簿」

第1章 生馬地区の概要

<地理的概況、産業構造>

生馬地区は、松江市のほぼ中央北部に位置し、自然豊かな古くからの農村地帯であったが、近年市街地にも近いこともあり住宅団地造成等により混住社会が顕在化している。核家族化も進展している。

資料 生馬地区統計データ

<人口及び世帯数の推移>

この5年で人口167人の減ですが、世帯数は62世帯の増加がありました。高齢化率は横ばい状態ですが、高齢者世帯・独居世帯数は増加しており、核家族化も進んできている状況です。

	第4次計画策定時 (平成25年)	第5次計画策定時 (平成30年)	
人口	3,867人	3,700人	
世帯数	1,654世帯	1,716世帯	
自治会加入率	58.3%	57.7%	
生産年齢人口	2,505人	2,315人	
年少人口(15歳未満)	491人	415人	
就学前人口(0~6歳)	223人	192人	
0歳児数	37人	28人	
65歳以上人口	871人	970人	
一人暮らし高齢者数	182人	204人	
高齢者世帯数	323世帯	395世帯	
介護認定者数	157人	159人	

※松江市統計情報データベースより

生馬地区統計データ

平成30年4月～平成31年3月

	第4次計画策定時 (H25年)	第5次計画策定時 (H30年)		
人口	人口	3,867人	3,700人	
	世帯数	1,654世帯	1,794世帯	
	自治会加入率	95.0%	57.7%	
	年少人口(15歳未満)	491人	415人	
	就学前人口(0～6歳)	223人	192人	
	0歳児数	37人	28人	
	65歳以上人口	871人	970人	
	高齢化率	22.52%	26.22%	
	一人暮らし高齢者数	182人	204人	
	高齢者世帯数	323世帯	395世帯	
介護認定者数	157人	159人		

社会資源	買い物できる場所 (スーパー・小売店)	Yショップ いくま店、田んぼや、三谷うなぎ問屋、和田商店(東生馬)、マルイ総合水産
	金融機関	JAくにびき生馬店(ATM)
	郵便局	松江生馬簡易郵便局
	交番・駐在所	なし(比津交番)
	公共施設 (公園 集会所含む)	上佐陀集会所、下佐陀上集会所、下佐陀町下集会所、西生馬集会所、湊苑団地集会所、薦津公民館、東生馬公会堂、浜佐田上集会所、浜佐田灘公民館、椎ノ木ビレッジ集会所、生馬が丘団地集会所、客の尾住宅集会所、鏡谷ハス公園 上佐陀町遊園地、下佐陀町上遊園地、下佐陀町下遊園地、浜佐田町灘遊園地、生馬が丘団地公園(2)、薦津町ゲートボール場
	公共交通機関	一畑バス、市営バス、生馬タクシー
	教育機関(学校など)	生馬幼稚園(休園)、生馬小学校、松江工業高等専門学校、松江清心養護学校
	医療機関	東部島根医療福祉センター
	高齢者福祉施設	高齢者支援住宅まめのき園、グループホーム生馬の郷、グループホームひさご苑、健笑庵いくま デイサービス、 デイサービスかりん
	保育所	みのり保育園、みのり乳児保育園、浜佐田保育園
	障がい者福祉施設、その他	医療型障害児入所施設松江整肢学園(18未満)、療養介護事業所松江寮育園(18以上)
	理容店・美容院	理容店(やぶなか理容店、クリッパー理容店) 美容院(サント・サエコ、Hair UNCUT、mee t)
その他商業施設、事業所	ネイルサロン、マッサージ、虹のホールこほく、NUTTERU、JA稲蔵、ライスフィールド、松江冷機、珈琲館、(株)セイデンコーポレーション	

地区内の団体	団体名	組織数、人数	団体名	組織数、人数	団体名	組織数、人数
	公民館運営協議会	1 組織	生馬児童クラブ	1 組織	若馬会	1 組織
	地区町内会・自治会連合会	1 組織	生馬子ども広場	1 組織	生馬地区交通安全対策協議会	1 組織
	地区民生児童委員協議会	1 組織	生馬地区地域安全推進員会	1 組織	交通指導員	2 名
	地区寿会	1 組織	母子保健推進員	3名	交通安全教育指導員	2 名
	地区社会福祉協議会	1 組織	地区人権教育推進協議会	1 組織	少年補導員	1 名
	福祉部長、福祉委員	30名	保護司	1 名	教室・サークル	23
	福祉推進員	23名	松江更生保護女性会生馬支部	1 組織	学習グループ	13
	健康まつえ21推進隊	1 組織	生馬体育協会	1 組織		
	生馬青少年を育てる会	1 組織	松江市生活環境保全推進員	3名		
	市民憲章推進協議会	1 組織	地球温暖化防止活動推進員	1 名		
	地区消防協会	1 組織	生馬教育振興会	1 組織		
	生馬体育協会	1 組織	要配慮者支援組織	8 組織		

第2章 生馬地区の現状と今後の課題

「生馬の生活・福祉をかたる会」開催

日時 平成30年11月16日(金)18:30～

資料 生馬の生活・福祉を語る会集計



テーマ	課題(困っていること・良いこと等)	対策(叶えられること・望むこと等)
① 高齢者の生活について	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に行く移動手段がない ・独居で食事が作れない。作り甲斐がない ・力のいる作業ができない。頼む人がいない ・かなり高齢者の方でも積極的に出ると、全く関心のない人がいるので、どう誘い出すのがよいか? ・なごやか寄り合い事業への充実(参加者が少ない、回数が少ない) ・車の運転ができない人たちの買い物が不便 ・高齢世帯、独居老人等の安否について家族や町内でどう見守っていくか?要配慮者支援組織の充実を。 ・見守り、要配慮者支援組織の活動が、何をしているのかよくわからない。 ・ミニデイサービス、なごやか寄り合い、足が痛くて会館まで行けない。送迎をしてもらえば。 ・除雪対策。高齢者のみの家、町内道路、ゴミステーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフカートの活用 ・ボランティア募集
	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停までの道のりが遠い。 ・バスの便が少なくなり、車に乗れない高齢者は不便になった。 ・公民館まで行けない。 ・公共バスの便が悪くて苦労している。他地区にあるコミュニティバスがあれば良い。 ・祭、文芸大会等での送り迎え。 ・冬期の雪かき・見守り ・独居老人の食事作り ・買い物への交通手段が無く困っている。(高齢者) ・高齢者の方がマーケット等に行く足が無い。 ・バスカードの使用方法(高齢者割引) ・小・中学生の登下校の時の歩道が狭い。(車のスピード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段は福祉バスの運行 ・福祉バス(生馬地区)の運行(格安で) ・近所同士で送るような助け合いをする。 ・弁当配食先の紹介 ・福祉タクシーの運営と利用料金の補助(白タクは無理)
	<ul style="list-style-type: none"> ・月1度のサロンを楽しみにしておられる。 ・団地もできて20年になり高齢者が増えてきた。 ・買い物等への移動手段に困る。10年先は人員が多くなるし交通機関がどうなるか? ・バスの便が少なく(今は運転をしているが)不便。 ・必要なサービスがどこにあるのか分からない。 ・買い物が不便。 ・車の無い人の移動手段。集いの場 ・介護サービスの認知度はまだまだ低い? ・65才代からの予防はどうしたら良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段は福祉バスの運行 ・病院バス ・通勤・通学もコミュニティバス ・移動販売車、コンビニ
	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス。 ・生馬にコミュニティバスが欲しい。 ・なごやか寄り合い事業 ・(良いこと)買い物に車で連れていってあげる。(困っている事)買い物する所が近くに無い。 ・客の尾住宅は、現在高齢者ばかりです。自分はまだ車の運転が出来るので、今日は買い物の有無を聞いて乗せて 出たあげようになっている。 ・車に乗れなくなっ時の移動手段を心配。買い物する所がもっとあると良い。 ・寿会の仲間意識の中での見守り。 ・後期高齢者の見守り(福祉関係委員) ・要配慮者支援組織との実情、話し合い・満足度はいかがなものか。 ・ふれあいサロンがあって良い。ながやか寄り合い。 ・見守り組織を立ち上げる。今年4月は発足会を開催。集会所建設を優先した。 ・一人暮らし、歩行困難のお年寄りがおられる。普段から心配。なごやか寄り合い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物に行くのに不自由されている方がるので、日用品等移動販売車があれば。 ・バス停が遠いので近くにマーケットが欲しい。 ・支援組織の充実 ・町内で動いている組織の透明化と横の連携。 ・薦津町に野菜・果物の100円コーナーが欲しい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が不便 ・高齢者の生きがい ・一人暮らしの人の見守りがいきとどかない、連絡がいきとどかない ・外出が少ない ・老々介護の増加 ・一人暮らしの方が増えてきている ・高齢者世帯の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売 ・配達 周知を図る(→方法が難しい)
	<ul style="list-style-type: none"> ・車がなくなったときの移動が難しい ・公民館が遠くて高齢者の参加が難しい ・バス停まで遠い人がいる ・大型バスでなく、小型バス(コミュニティバス)で 小回りして欲しい ・健康が維持できるか心配 ・独居世帯が増加して、見守り活動の必要性が大となっているが難しい ・お店が遠い。お店がない ・免許証返納の方の買い物手段 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスを回してほしい ・話す機会を増やす。なごやか継続していく ・緊急情報(救急車に対応する)申請しておく ・高齢者の方にいざという時のために、施設情報を話してあげる ・誰でも一緒に運動をする機会を作る

「生馬の生活・福祉」を語る会 集計

平成30年11月16日(金)

テーマ	課題(困っていること・良いこと等)	対策(叶えられること・望むこと等)	
② 子育て環境について	A	・子供がいない	
		・若者が定住するにはどんな環境が必要か	
		・まずは少子化、子供を見かけない	
		・公園があっても遊具がない	
		・遊ぶ場所が少ない	
		・生馬幼稚園の再開は？(給食、延長保育)	
		・生馬へ幼稚園。幼稚園は休園、居場所が無い	
	B	・少子化になり子どもたちが外で遊ぶ姿をみたことが無い。(居場所が無い)	・通学路の再点検と対策を図る。
		・保護者(父母等)が参加する事業を活性化する必要がある。	・遊び場の草刈などをする。
		・こどもの数が少なくなり、賑わいがなくなった。	
	C	・遊び相手がいない。	・幼稚園が必要。
		・保育所、待機児童が多く、仕事と両立が難しい。	・20代～30代転入者への補助金。
		・こどもさんが少なく寂しい。	
		・孤立した環境の中での育児。	
		・県営戸建て住宅の導入。	
	D	・学童の祭りのヤイトー参加は地区の希望に繋がる。	
		・幼稚園が休園して寂しい。幼保園が欲しい。	
		・こどもと大人とのふれあいがあると良い。地区のお祭りがあると良い。	
		・お年寄りと子供の交流の機会が沢山あると良い。	
		・親子クッキング。親子で楽しく作って、楽しく食べよう。公民館からも後押ししてもらおう。	
		・遊園地がありながら、ゲートボール場として主に使われている。子どもたちが遊んでいる姿を見た事がない。(日曜日)	
		・自宅も含め近くに幼児はいない。	
		・事件・事故に遭わないよう願う。	
		・小学生の学校生活や通学途中の事は把握できかねる。	
		・近くに子供がいない。	
	・最近の子どもの様子が分からない。		
	・どこの子供か分からない。		
・こどもの数が少ないので、子供同士の交流の場が少ない。幼児教室は良い。お母さん達の交流。			
E	・遊び場が少ない。一緒に遊んでいる姿をあまり見ない	・町内(保全会)中心で年2回水質検査と川、池等の勉強会をしている	
	・子供たちの食堂などは	・若夫婦を増やす。そのために住宅の洋風化(若者が住みやすいリニューアル、新築)	
	・子供の数が少ない。遊び方を知らない。		
F	・近所に歳の近い子供がいない		
	・子供たちが野外で遊ぶのが少ない	・皆が集まれる遊び場を作る	
	・浜佐田は公民館が遠いから参加が難しい		
	・生馬地区は遊び場が少ない		

「生馬の生活・福祉」を語る会 集計

平成30年11月16日(金)

テーマ	課題(困っていること・良いこと等)	対策(叶えられること・望むこと等)	
③ 障がい者の生活について	A	・障がい者と健常者の交流が少ない	・名尾が丘まつりに障がい者を誘う
		・要配慮者支援組織の充実が必要	・研修会に参加する
		・ほぼ交流がない	
	B	・歩道がガタガタ道で歩く車イスが危ない。	・個人宅、公共施設ともバリアフリー化を前向きに図る。
		・個人情報の共有はどうするか。	・個人情報は責任のある者のみ見られるようにする。(プライバシー保護)
		・障がい者のためのバリアフリー化を進める。	・いきなり全部から集めようとせず、協力でも2人から求めていく。(強制しない)
	C	・障害者への対応が分からない。	・互助で生活する。
		・交流の場が無い。	
		・誰が障がい者なのか把握できない。	・要配慮者支援で把握する。
		・声の掛け合い	
	D	・移動手段の手助け。交流をこまめにする。買い物の手助け。	
		・身体の不自由な方を2～3日見ないと包括さんに相談するようにしている。	
		・デイサービスに通う。	
		・障がい者の夢を叶える。活動は何か？	
		・介護している家族の人たちの悩みを聞いてあげる。機会を作ってあげる。	
		・貸し家で2人の障害者を扱っている。(手の不自由な人と足の不自由な人)補い合って生活している。	
	E	・身近に聴覚障がい者がいる。日常会話が手話のため健常者との意思疎通が不足している。	
		・引きこもりの人はいないか、みつけるのは難しい。近所付き合いを強くすると良い。	
		・障がい者の交流の場	・外出支援
		・障害があっても開示しない人がいる	
		・自宅で引きこもりがちの方がいる	
		・プライバシーの問題もあり、情報を得にくい	
		・情報共有がしにくい	
	F	・バリアフリー住宅が少ない	
・要配慮者支援組織の活動を活発に			
・隣近所の声掛けはある		・情報の共有できる体制づくり	
・要配慮者支援組織で話し合い手助けする		・緩やかな見守りをつづける	
・プライバシーの問題もあり、情報を得にくい			
・情報共有がしにくい			
	・バリアフリー住宅が少ない		
	・要配慮者支援組織の活動を活発に		

テーマ	課題(困っていること・良いこと等)	対策(叶えられること・望むこと等)	
④健康づくりについて	A	・健康づくりに参加するまでのハードルが高い(ついていけない心配)	・各地区集会所に出前講習(体操教室など)
		・生馬地区健康まつえ21推進隊の活動充実を	
		・健康づくりに参加する機会が取れない	
	B	・ウォーキング等の参加者の固定	
		・認知症予防と接し方の研修活動を展開してもらいたい。	
		・健康であるためにはまず本人が自覚をして積極的に体を動かすことである。	
	C	・減塩に心がけている。	・家族の協力
		・若い人の健康づくりをしたいが手段が無い。	
		・公民館での体操教室、ウォーキングに参加。	
		・男性の集いが少ない、出ない。	
		・身近で体操など集う所があると良い。	・各集会所で開催する。
		・小さなグループを作り共通な趣味等を共有する。	
	D	・健康で長生き。が一番。自分で努力。自分の健康は自分で守る。	・なごやか寄り合いで体操教室をすると良い。
		・日常生活をみんなと話し合う。	
		・公民館での体操教室、ウォーキングは仲間づくりにもなる。	
		・運動と食生活は関係が深い、いずれも節度が大切。	
	E	・ウォーキングが定期的に行われている	・今やっていること→PRを強化
		・体操教室など公民館の教室がある	
・保健所の検診車(回覧の時期が早いので当日忘れる)			
・老化して足、腰が弱くなり動作に支障が出る			
F	・健康診断を受ける	・検診を受ける。	
	・食生活が単調になりやすい	・食改さんの活用	
⑤その他	A	・公民館、町内自治会への若者が参加しやすい環境を整える	・町内慰労会、行事に子供も参加させる
		・高齢化により役員のなり手が少なくなってきた。	・生馬版【便利帳】の作成
	B	・弁当の宅配の利用方法が分からない。	・公民館だよりで情報提供する。
		・将来のまちづくりの担い手確保のための、若者の参加・活動が不足している。	
		・出会い会(婚活)	
		・買い物に行くより自宅近くに移動販売車にきて欲しい。	
	C	・地域内に若者を増やす為に、新規住宅団地の開発とか公営住宅団地を進める。	
		・南北の交通便が無い。	
		・今年の大雪などの時「自分たちで何とかする」という意識が少ない。	
	D	・若い町民、町内補助で、20才代、30才代夫婦	
		・コミュニティバスが欲しい。	
		・住宅が増えると良い。	
	E	・趣味などで出会いの友を作る。	
		・町内に新しい家など考えられない(上佐陀)	
		・古い家を建て替えしたり、改築すると若い人が入ってきます	
		・行くところ(遊び場)が少ない	
		・買い物、歩ける範囲にスーパーなく、車が無いと大変です	
		・道路の夜の照明が足りない。足腰が立ちにくい人の地区で見守りが少ない。(買い物、病院等)	
F	・貸農園と野菜作り講習会の開催		
		・三河屋、生協のカatalog販売利用	
		・東生馬住宅跡地を住宅建設できれば、人口増、子供増にもつながるのでは・・・	

第3章 第5次生馬地区地域福祉活動実施計画の概要

福祉目標の設定

「住むなら生馬 安全で安心して暮らせる 魅力あるまちづくり」

第4次計画から引き続き生馬の福祉目標としました。



第5次生馬地区地域福祉活動 実施計画表

福祉目標

「住むなら生馬 安全で安心して暮らせる 魅力あるまちづくり」

平成31年3月

活動名	活動目標	具体的取組内容	2019	2020	2021	2022	2023	実施・協力団体	財源
健康まちづくり	健康寿命をのばす	健康的な食の啓発	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	地区社協 公民館 松江市 健康まつえ21推進隊 食生活改善推進委員会	地区社協 市社協 補助金
		いきいきウォーキング 「転ばぬ先の体操」教室	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施		
		健康まつえ21推進隊活動 ・けんしん啓発 ・健康づくり研修会 ・家庭でも出来る「健康体操」の普及・指導	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施		
		ほのほの通信等の活用による啓発	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施		
ふれあう・交流する	ふれあいづくり	各地区ふれあい福祉活動 ・なごやか寄り合い事業の充実と継続 ・ミニデイサービス事業の充実と継続 ・要配慮者支援事業 ・寿会地区活動 ・見守りネットワークづくり	検討継続 実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 福祉推進員連絡会 公民館 町自連 寿会	地区社協 市社協 補助金
		生馬ふれあい福祉活動 ・ふれあい福祉大会開催	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 福祉推進員連絡会 公民館	地区社協 市社協 補助金
	世代間交流	寿会・若馬会・教育機関等による三世交代 交流 ・しめ縄づくり、とんどさん等の伝統行事 ・ふれあいお茶席等の開催 若馬会活動の充実と連携	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 寿会 青少年を 育てる会 若馬会	地区社協 市社協 補助金
子育て支援	地域で子育て	こまっこ(乳幼児教室)開催 わいわいサロンの開催 妊産婦からスタート子育て情報交流 出産祝い贈呈	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 松江市	地区社協 市社協 補助金
知る・学ぶ	福祉関係研修会の開催	研修内容の充実 福祉関係者合同研修 民児協・福祉推進員合同研修 障がい者の理解と交流を深める 生馬地区の障がい者施設・高齢者施設との交流	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 町自連 民児協 福祉推進員連絡会	地区社協 市社協 補助金
		検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施			
見守り・支え合い	地域の安全・防災活動	多様な地域内見守り活動の充実 地域安全パトロールの実施 こども110番の再点検	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	交対協 交通指導員 地域安全推進委員会 小・中学校 小・中学校PTA	地区社協 市社協 補助金
	見守り活動 要配慮者支援体制の 整備・支援 (共助力の強化)	地域別共助カアップ 体制の整備 福祉調査実施(対象65歳以上) 要配慮者リストの共有化とマップ作成 訪問活動(弁当配達)(友愛訪問) 移動手段の調査・研究のとりくみ 移動販売車導入の調査・研究のとりくみ	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 町自連 民児協 福祉推進員連絡会 消防分団 寿会 市社協 松江市	地区社協 市社協 松江市 補助金
伝える・広める	魅力ある情報発信	取組事例を多く掲載し定期的発行 ・社協だより年1回発行 ・ほのほの通信年6回発行 ・公民館 ネットワーク生馬に掲載 ・生馬公民館ホームページの活用	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館	地区社協 市社協 補助金
		便利帳等の作成 ・生活・福祉サービス情報の提供	調査研究	調査研究	検討・実施	検討・実施	検討・実施		
組織の充実	魅力あるまちづくり	福祉推進員の活動支援 各団体年間活動の連携強化	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 町自連 民児協 寿会 若馬会 福祉推進員連絡会 青少年を育てる会 健康まつえ21推進隊 食生活改善推進委員会 交通安全対策協議会 消防分団他	地区社協 市社協 補助金
		第5次福祉活動計画の進捗状況と 中間評価	評価	評価	評価	評価	評価		